土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　一級河川　太田川水系　寺山川外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

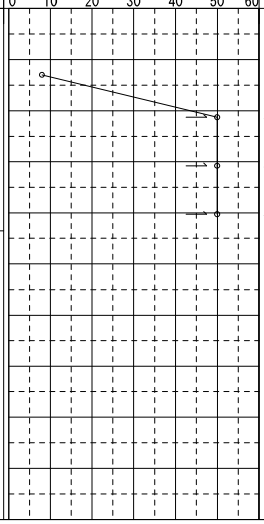
調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.4-寺条川右支7隣	調査位置	広島県広島市東区福田町	北緯	34° 26' 48.6091"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 3月25日～ 令和3年 3月26日	東経	132° 31' 47.8921"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 226.40m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	29° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1B-58 / エンジン：ヤンマーTF120M / ポンプ：東邦BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	224.90	1.50		粘土混じり礫混じり砂		褐	rd2		地表面は木根を混入する 中～粗砂を主体とする 径5cm以下の礫を10～20%程度混入する 細粒土分を10～20%程度含有する	
2	224.40	2.00		花崗岩		灰褐			DM級岩盤 礫状～岩片状で採取するが指圧で土砂化する	
3				花崗岩		灰褐			DH級岩盤 L=5～10cmの岩片状～短柱状で採取するがハンマー軽打で砕ける 造岩鉱物は風化変色している 一部風化が進行し土砂化している	
4	222.30	4.10		花崗岩		灰褐			CL級岩盤 L=5～15cmの短柱状コアで採取するがハンマー軽打で割れる コア肌は粗い	3/30 4.35
5	221.40	5.00								
6										
7										
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
8	1.15	2	3	3	8/300		
	1.45						
50以上	2.10	50			50	50	
	2.15	50			50		
50以上	3.05	50			50	50	
	3.10	50			50		
50以上	4.00	50			50	50	
	4.05	50			50		

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				3/25
				3/26